



▲タブレット端末機を活用した本会議の様子

議会のICT化を目的として、本年3月からペーパーレス会議システムを導入しています。これまで紙媒体で議員に配付されていた議案や委員会資料などは、電子データ化され、議員はタブレット端末機から閲覧することができます。現在、本会議や委員会でも試行されており、具体的な運用方法などを協議しています。



5月臨時会・6月定例会

新しい議会がスタート —議会人事など決まる—

広聴広報、都市基盤整備調査、公共施設 マネジメント調査の各特別委員会を設置

4月の一般選挙後、初の臨時会を5月22日に開催し、議長・副議長を初めとした議会人事を決定しました。また、小平市監査委員の選任議案を同意したほか2件の市長専決処分を承認しました。議員提出議案は特別委員会の設置3件を可決しました。

6月6日からは6月定例会を30日まで25日間の会期で開催し、令和5年度小平市一般会計補正予算(第2号)など23件の市長提出議案について可決・同意し、1件を閉会中の継続審査としました。議員提出議案は1件を否決し、2件を閉会中の継続審査としました。請願は1件を閉会中の継続審査としました。

また、6月7日から3日間にわたり26人の議員から57件の一般質問がありました。

就任にあたって



副議長
中江 美和



議長
松岡あつし

市民の皆様には、日頃から市議会に対しご理解・ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。
私たちは、去る5月22日に開催されました臨時会におきまして所信表明を行った上選挙の結果、議長、副議長に就任いたしました。議長は前期に続き2度目の就任となりますが、その職責の重さを痛感し、改めて身の引き締まる思いでございます。議長、副議長として、公正公平かつ円滑な議会運営に取り組んでまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

小平市におきましては、少子高齢社会の進展に伴う社会保障費の負担増、地域経済の再建、災害対策、教育・福祉の充実など多くの取り組みの課題がございます。また、今般、条例制定及び計画策定への市民意見公募手続において、市ホームページのパブリックコメント機能で寄せられた意見の把握漏れが判明しました。市として小平市自治基本条例に規定された参加の機会の保障の具体的手法である市民意見公募手続を十全に行えていなかったことは重大事態です。こうした市政の諸課題に対応するため、二元代表制の一翼を担う市議会の権能を自覚し、その役割をしっかりと果たしてまいります。

また、小平市議会では、これまで常任委員会による執行機関への政策提言の実施や、本会議のライブ配信の開始、効率的な議会運営に向けたペーパーレス会議システム導入などを行ってまいりました。今後も市民の皆様の声を真摯に受け止め、分かりやすい、開かれた市議会を目指してまいります。

引き続き市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

小平市監査委員に 虻川 浩 議員

議会選出の監査委員に、虻川 浩議員を選任する議案について同意しました。

新議員の紹介

五十音順に左から右へ記載してあります。

<委員会名の略称>

総務=総務委員会 生文=生活文教委員会 厚生=厚生委員会

環建=環境建設委員会

広聴広報=広聴広報特別委員会

都市基盤=都市基盤整備調査特別委員会

公共施設=公共施設マネジメント調査特別委員会

議連=議会運営委員会

(◎=委員長、○=副委員長)

写真

氏名(年齢は発行日現在)
当選回数 会派名
常任委員会・特別委員会等
住所
電話番号 (事)は事務所

 あゐかわ ひろし 虹川 浩(62) ⑤ 市議会公明党 環建(○)・都市基盤 美園町2-3-15-103 ☎042-348-0483	 いしづ はるか(34) ② 政和会 総務・公共施設 御幸町6-3-307 ☎050-3709-3286	 いとう ひさし 伊藤 央(53) ③ 一人会派の会 生文・公共施設(○) 学園西町1-12-22 ☎042-313-2761	 いわもと まこと 岩本 誠(60) ① フォーラム小平 環建・広聴広報・公共施設 (事)仲町210-2-203 ☎(事)070-8569-2869	 おくだ しんぺい(34) ② フォーラム小平 総務・都市基盤 鈴木町1-290 ☎042-343-3939	 かわさと ともみ(44) ② フォーラム小平 生文(○)・議連 (事)花小金井4-33-7カトレアハイツ1F ☎(事)050-3596-7611	 さとう えつこ(58) ③ 生活者ネットワーク 環建・広聴広報(○)・都市基盤 (事)学園西町2-15-2 CB-橋学園 ☎(事)042-342-4494
 さとう たかし(64) ③ 市議会公明党 総務・議連 小川町1-800-36 ☎042-332-5883	 しば ひろみ(59) ① 生活者ネットワーク 厚生・議連 (事)学園西町2-15-2 CB-橋学園 ☎(事)042-342-4494	 すずき だいち(40) ② 日本共産党小平市議団 総務・議連 (事)小川町1-1023-12 ☎(事)042-345-4440	 すずき よういち(63) ② 政和会 総務(○)・公共施設 (事)仲町165 ☎(事)042-343-3098	 たかはし まさみ(57) ① 市議会公明党 厚生・広聴広報・都市基盤 小川町1-2267-20 ☎042-409-0503	 つもと ゆうこ(62) ⑥ 市議会公明党 総務・議連(○) 花小金井南町1-17-11-110 ☎042-464-1126	 とやま まなみ(48) ② 政和会 生文・公共施設(○) 小川東町2-13-8-405 ☎042-313-6961
 なかえ みわ 中江 美和(43) ③ フォーラム小平 副議長・厚生・都市基盤(○) 学園東町2-13-12 ☎042-315-7475	 なかむら しげかず 中倉 茂和(62) ① 市議会議員いわ新選組 生文・公共施設 美園町3-14-11第1楽荘2F ☎090-7817-7037	 はしもと こうじ 橋本 孝二(55) ② 市議会公明党 生文・広聴広報(○)・公共施設 上水南町1-5-5 ☎042-326-6526	 ひるま よういち 比留間 洋一(66) ② 政和会 厚生(○)・広聴広報・都市基盤 花小金井3-6-14 ☎042-461-3801	 ふかや ゆきひこ 深谷 幸信(44) ① 政和会 環建・広聴広報・都市基盤 鈴木町1-245-6 ☎042-345-4223	 ふくろ ひでとし 福室 英俊(33) ② 政和会 厚生・議連(○) (事)上水新町2-5-26 ☎070-2163-2966	 ほそや たかし 細谷 正(44) ④ 日本共産党小平市議団 環建(○)・都市基盤(○) 小川西町5-37-6 ☎042-345-0818
 まつおか あつし(38) ③ 政和会 議長 学園西町1-16-10-204 ☎090-6549-0596	 みずくち かずえ(61) ② まちづくり市民こだいら 生文・都市基盤 (事)学園東町2-4-11ハウス井上101 ☎(事)042-313-5108	 みつ ともみ 三輪 博美(41) ① 日本共産党小平市議団 厚生・広聴広報・公共施設 (事)花小金井7-1-41 ☎(事)042-347-5580	 やぎたけ ようへい 安竹 洋平(45) ② 一人会派の会 環建・広聴広報・議連 大沼町1-2-1-207 ☎042-313-6780	 やまだ だいすけ 山田 大輔(50) ② 政和会 生文(○)・都市基盤・議連 学園東町496-54 ☎042-345-8862	 ゆき た ますゆき 幸田 昌之(55) ④ 市議会公明党 厚生(○)・公共施設 学園西町1-37-4 ☎042-347-7480	 よしもと ゆうすけ(40) ③ フォーラム小平 総務(○)・公共施設 小川西町2-18-5 ☎042-315-9337

常任委員会

◎=委員長
○=副委員長

市の事務に関する調査及び議案・請願等の審査を行います。小平市議会では条例により4つの常任委員会を設置しています。各委員会の定数及び所管は次のとおりです。

■総務委員会(7人)

市の基本計画、広報、財政、財産管理、個人情報保護、情報公開、契約、職員給与、戸籍・住民記録、市税、公金の出納、広聴、市民相談などに関する事項

- ◎吉本ゆうすけ ○鈴木 洋一
- 石津はるか ○岡田しんぺい
- 佐藤 徹 ○鈴木だいち
- 津本 裕子

■生活文教委員会(7人)

防災、防犯、男女共同参画、地域センター、産業振興、文化施策、スポーツ振興、学校教育、生涯学習、公民館、図書館などに関する事項

- ◎山田 大輔 ○川里 富美
- 伊藤 央 ○外山まなみ
- 中倉 茂和 ○橋本 孝二
- 水口かずえ

■厚生委員会(7人)

子育て支援、保育、生活支援、高齢者支援、介護保険、障がい者支援、健康施策、国民健康保険などに関する事項

- ◎幸田 昌之 ○比留間洋一
- 柴尾ひろみ ○高橋 政美
- 中江 美和 ○福室 英俊
- 三輪 博美

■環境建設委員会(7人 欠員1人)

環境対策、ごみ・リサイクル、公園・用水、下水道、都市計画、公共交通、土地区画整理、道路、交通対策などに関する事項

- ◎細谷 正 ○虹川 浩
- 岩本 誠 ○さとう悦子
- 深谷 幸信 ○安竹 洋平

特別委員会

◎=委員長
○=副委員長

常任委員会とは別に、特定事件を調査及び審査するための委員会です。各委員会の定数及び所管は次のとおりです。

■広聴広報特別委員会(8人)

①議会報告会の企画及び聴取した意見等の整理に関する事②議会報の編集及び発行方法に関する事③議会ホームページの充実に関する事④広聴及び広報活動の基本的事項の調査に関する事

- ◎橋本 孝二 ○さとう悦子
- 岩本 誠 ○高橋 政美
- 比留間洋一 ○深谷 幸信
- 三輪 博美 ○安竹 洋平

■都市基盤整備調査特別委員会(10人)

①駅前再開発の基本的事項の調査に関する事②都市計画道路、鉄道の連続立体交差化の基本的事項の調査に関する事③都市計画公園整備の基本的事項の調査に関する事

- ◎中江 美和 ○細谷 正
- 虹川 浩 ○岡田しんぺい
- さとう悦子 ○高橋 政美
- 比留間洋一 ○深谷 幸信
- 水口かずえ ○山田 大輔

議会運営委員会

(8人)

◎=委員長 ○=副委員長

議会運営に関する事項についての調査及び議案・請願等の審査を行います。

- ◎津本 裕子 ○福室 英俊
- 川里 富美 ○佐藤 徹
- 柴尾ひろみ ○鈴木だいち
- 安竹 洋平 ○山田 大輔

■公共施設マネジメント調査特別委員会(10人)

公共施設マネジメント推進計画の調査に関する事

- ◎外山まなみ ○伊藤 央
- 石津はるか ○岩本 誠
- 鈴木 洋一 ○中倉 茂和
- 橋本 孝二 ○三輪 博美
- 幸田 昌之 ○吉本ゆうすけ

その他の議会人事

一部事務組合議会

昭和病院企業団議会

津本 裕子 山田 大輔

湖南衛生組合議会

鈴木 洋一 吉本ゆうすけ

小平・村山・大和衛生組合議会

佐藤 徹 柴尾ひろみ

外山まなみ 三輪 博美

東京都十一市競輪事業組合

東京都四市競艇事業組合議会

福室 英俊 幸田 昌之

東京たま広域資源循環組合議会

伊藤 央

多摩六都科学館組合議会

岡田しんべい 鈴木だい

協議会等理事及び委員

〇理事

東京都三多摩地区消防連協

三多摩上下水及び道路建設促進協議会

松岡あつし(議長)

柴尾ひろみ(第1委員会)

深谷 幸信(第2委員会)

伊藤 央(第3委員会)

三鷹・立川間立体化複々線促進協議会

松岡あつし(議長)

川里 富美

野火止用水保全対策協議会

比留間洋一 細谷 正

幸田 昌之

東京河川改修促進連盟

松岡あつし(議長)

多摩地域都市モノレール等建設促進協議会

〇松岡あつし(議長)

川里 富美

多摩北部都市広域行政圏協議会

石津はるか 高橋 政美

東京都公平委員会関係団体協議会

松岡あつし(議長)

〇松岡あつし(議長)

市長附属機関等委員

都市計画審議会

石津はるか 佐藤 徹

鈴木だい 深谷 幸信

吉本ゆうすけ

交通安全対策協議会

岩本 誠 鈴木 洋一

高橋 政美 安竹 洋平

土地開発公社評議員会

吉本ゆうすけ(総務委員長)

細谷 正(環境建設委員長)

川里 富美 さとう悦子

外山まなみ 橋本 孝二

三輪 博美

公益財団法人小平市文化振興財団評議員会

山田 大輔(生活文教委員長)

可決、同意または承認した議案

専決処分(令和5年度一般会計補正予算(第1号))

3月に国の閣議決定に伴い予算措置された、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金事業について、市として5月から支給を開始するに、速やかに事業に要する経費を予算措置し、給付事務に着手する必要があることから、4月17日付で専決処分により予算の補正をしたものです。

農業委員会委員の任命

任期満了に伴う農業委員会委員の任命について同意を求める議案が提出され、次のとおり同意しました。

令和5年度一般会計補正予算(第2号)

国の物価高騰対策等の予備費

Table with 2 columns: Name and Position. Lists names like 村野 幸徳氏, 中村 貞子氏, 森田 建一氏, etc.

今後の市議会の日程(予定)

開会時刻: 原則として午前9時 場所: 市役所7階

Table of council schedule from 8月7日 to 10月17日. Includes committee meetings and council sessions.

5月臨時会

議案に対する各議員の賛否

会派名略称 ()内は各会派の議員数 政和:政和会(8) 公明:市議会公明党(6) フォ:フォーラム小平(5) 共産:日本共産党小平市議団(3) 生ネ:生活者ネットワーク(2)

Table showing council decisions for the 5th Special Session. Columns include party names and decision results for various proposals.

6月定例会

会派名略称 ()内は各会派の議員数 政和:政和会(8) 公明:市議会公明党(6) フォ:フォーラム小平(5) 共産:日本共産党小平市議団(3) 生ネ:生活者ネットワーク(2)

Table showing council decisions for the 6th Regular Session. Columns include party names and decision results for various proposals.

市政を問う

一般質問要旨

一般質問とは

議員が市政全般にわたり、執行機関に対し事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。

※QRコードについて

お手持ちのスマートフォンなどからQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像をご覧いただけます。

市議会ホームページの「小平市議会 議会中継」のページに遷移します。

(QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。)



デマンド交通の早期実現を／南東部地域等の諸課題への取組 (市議会公明党) 橋本孝二議員



市民に広がる地域公共交通を目指しデマンド交通の早期実現を

住み心地よいまちを目指し南東部地域等の諸課題に取り組み

質問 ①令和4年度実施のアンケート調査結果等は、高齢者のデマンド交通実施要望を示唆していると考えが市の見解は。 ②南西部地域におけるデマンド交通の実証実験運行開始のスケジュール見込みは。 市長 ①デマンド交通は、交通不便地域への対策として有効な交通手段であると認識している。 ②今後、南西部地域コミュニティ交通をみんなで考える会で運行方法や適正な運賃等を検討するほか、警察署などの関係機関等との調整などを行っていく。

質問 ①学園東町一丁目交差点の東側横断歩道には歩行者用信号機がなく対策すべきでは。 ②プロパンガス料金の負担軽減策を早期に実施すべきでは。 市長 ①停止線の両方向設置等で一定の安全性は確保されているが、歩行者用信号機設置を含め交通管理者と対策を協議する。 ②5月19日に発表された都の補正予算案に、プロパンガスの使用料金について、1世帯当たり6か月で最大3千円の助成が盛り込まれており、一定の負担軽減につながると考えている。



「ごみ資源化の取組／全ての子どもたちのため教育環境の整備を」 (市議会公明党) 高橋政美議員



資源循環型社会へ、ごみの資源化への取組について

全ての子どもたちの笑顔のために、教育環境を整えよう

質問 ①ごみ削減のためには生ごみ対策が必要だが市の取組は。 ②今後のさらなる資源循環型社会の構築のため、未来を担う子どもたちへの啓発活動が重要と考えるが、市の対策や取組は。 市長 ①生ごみを堆肥化する食物資源循環事業や、食物資源処理機器の購入者への補助金等でごみ減量の推進を図っている。 ②リサイクルセンター内施設で小学生の見学を積極的に受け入れる等している。子どもたちへの啓発は重要で、今後も幅広い世代に対し環境教育を進める。

質問 ①小・中学校に行くことのできない子どもたちのために、どのような対策を取っているか。 ②熱中症対策として冷水機等の設置を望む声があるが、子どもたちの命を守る対策は。 教育長 ①学校復帰を支援する場としてあゆみ教室があり、児童・生徒一人一人の状況に応じた支援等を行っているほか、学校ではフリースクールとの連携等で学習機会の保障に努めている。 ②校舎の水飲み場の利用や水筒の持参により対策しており、現時点で設置は考えていない。



学校復帰を支援する教育支援室「あゆみ教室」(小平元気村おがわ東3階)



独裁色、強権色を強める小林洋子市政に待った (一人会派の会) 伊藤 央議員



小林洋子市政の独裁的、強権的手法に待ったをかける

後退しかなない市民参加、市民協働の機運回復のために

質問 ①保育園民間移行に伴う市有地売却が公募開始2日前に改正された要綱が根拠になっていく。改正は土地売却のためか。 ②要綱改正を議会に報告する必要性は感じなかったか。 ③その時々ルールの変更はルール自体意味がなくなるのでは。 市長 ①新たな取組のため必要な整備等図る必要があり、今後も対応できるよう改正した。 ②要綱は行政内部の規範の一つであるため報告しなかった。 ③改正の合理性等を法令等に照らし確認しており妥当である。

質問 ①パブリックコメントで提出された市民意見を放置したことは自治基本条例や市民意見公募手続要綱に反していないか。 ②条例や要綱に反した手続でつくられた計画や条例の効力は。 ③市長の責任は。 市長 ①条例の趣旨に反していること認識している。また、要綱が期待する事務が万全にできなかったと重く受け止めている。 ②過程に部分的不備があったが無効になるとは捉えていない。 ③重く受け止め、再発防止を徹底することで責任を全うする。



教員の働き方改革／萩山公園プール跡地／上水本町地域 (市議会公明党) 幸田昌之議員



児童・生徒たちのために働く教員の働き方改革を進めよう

学校給食の無償化と給食会計の公会計化を問う

質問 学校内での教員のコミュニケーションを高めることが重要と考えるが見解は。 教育長 教育の質の向上を図っていくために、教職員や学校内の多様な人材が、お互いにコミュニケーションを取れる雰囲気醸成や環境の整備が重要であると認識している。

質問 西武多摩湖線敷地内のバス待機場所に要望の多い街灯、ベンチ、屋根を設置すべきでは。 市長 街灯は今後、照度の改善を検討する。ベンチ、屋根はバス事業者が設置の判断をするものであり、設置の意向が示された場合は土地所有者である鉄道事業者を含めて協議していく。



不登校支援の環境整備を／動物と安心して暮らせるまちづくり (政和会) 石津はるか議員



不登校の子どもたちも安心して学習できる環境整備のために

質問 ①地域猫の譲渡会を公共施設でも行えるようにすべきと考えるが見解は。 ②避難所におけるペットの同室避難を可能にすべきと考えるが見解は。 市長 ①屋内での実施は衛生面や環境面での問題が懸念され課題があるが、公園等の屋外での実施も含め、今後検討していく。 ②収容人数を超える避難者を想定しているため、あらかじめ可能とすることは課題がある。今後は災害の規模等によっては対応できるよう研究していく。

質問 ①学校内での別室登校がしやすい環境づくりを進めるべきと考えるが見解は。 ②公立不登校特例校を設置すべきと考えるが見解は。 教育長 ①学級以外で学べる居場所をつくらせている学校や、放課後に指導している学校がある。また、オンラインによる面談や学習支援も行っている。 ②現時点で設置は考えていないが、研究するなどしていく。

質問 ①学校給食無償化を実現するための課題としていた将来にわたる財政負担を含めた検討とは具体的にどのような検討か。 ②国が推進している学校給食会計の公会計化への認識は。 教育長 ①他自治体の導入事例の情報収集等しているほか、継続的な予算確保をはじめ給食費の適切な運営方策等について市長部局を交えて検討している。 ②国のガイドラインのとおり、給食費の徴収、管理業務を地方公共団体が自ら行うことなどで、教職員の業務負担を軽減できる。 質問 ①地域猫の譲渡会を公共施設でも行えるようにすべきと考えるが見解は。 ②避難所におけるペットの同室避難を可能にすべきと考えるが見解は。 市長 ①屋内での実施は衛生面や環境面での問題が懸念され課題があるが、公園等の屋外での実施も含め、今後検討していく。 ②収容人数を超える避難者を想定しているため、あらかじめ可能とすることは課題がある。今後は災害の規模等によっては対応できるよう研究していく。



学校給食の無償化等／自転車用ヘルメット購入補助等 (フォーラム小平) 中江美和議員



学校給食の無償化と給食会計の公会計化を問う

自転車用ヘルメット購入補助と高齢運転免許返納者への支援を

質問 ①学校給食無償化を実現するための課題としていた将来にわたる財政負担を含めた検討とは具体的にどのような検討か。 ②国が推進している学校給食会計の公会計化への認識は。 教育長 ①他自治体の導入事例の情報収集等しているほか、継続的な予算確保をはじめ給食費の適切な運営方策等について市長部局を交えて検討している。 ②国のガイドラインのとおり、給食費の徴収、管理業務を地方公共団体が自ら行うことなどで、教職員の業務負担を軽減できる。

質問 ①都は市区町村がヘルメット購入費用を補助する場合の自治体負担について、1個当たり千円を上限に半額を支援するとしているが、この制度を活用し早急に補助を実施すべきでは。 ②免許返納後に無料乗車券配付など移動サポートを行っている。 市長 ①今後実施に向けて検討を進めていく。 ②収入の減に伴い公費負担が増えることや運転免許証を有していない人との公平性の観点から、現時点では考えていない。



安全で快適な街こだいらを／重症心身障がい児等への支援拡充
佐藤 徹議員
(市議会公明党)

自転車ルールを守り、より安全で快適な街こだいらを目指して

重症心身障がい児等とその家族へさらなる支援拡充を目指して



耐震化促進事業／市の火災予防対策と被災者一時生活センター
鈴木洋一議員
(政和会)

小平市の耐震化促進事業について

市の火災予防対策及び小平市被災者一時生活センターについて



WiFi導入計画について／農ある小平の実現に向けて
岩本 誠議員
(フォーラム小平)

WiFi導入計画の確認と改良について

市民目線で農ある小平の実現に向けて



AI技術の活用／個別最適な学びの実現に向けた取組の推進
深谷幸信議員
(政和会)

業務及び市民サービスへのAI技術の活用について

個別最適な学びの実現に向けた取組の推進



質問 ①自転車のヘルメット購入助成は、都の補助金等を活用し早期に開始すべきだが見解は。

②葛飾区の三人乗り自転車等購入費助成事業など、子育て応援施策の導入を検討すべきでは。

市長 ①都から補助の具体的条件や各区市町村に対する限度額等が示されたことから、今後、実施に向け検討を進めていく。

②同事業で子育て世帯の経済的負担の軽減や外出時の安全性向上が図られるが、多様な子育て支援施策の優先度等、バランスを勘案しながら研究していく。

質問 ①医療的ケア児コーディネーターを早期に配置し、相談支援体制を強化すべきでは。

②全ての福祉避難所で停電を想定した電源確保をすべきでは。

市長 ①現在、情報収集しており導入時期は示せないが、他の自治体の状況等を踏まえながら、医療的ケア児コーディネーターの配置等について注視していく。

②東部市民センターと地域センターに可搬型発電機を配備している。一部の高齢者施設等には発電機が設置されているが、引き続き電源確保をお願いする。



まちの魅力度アップは市民とともに／東部地域の課題について
津本裕子議員
(市議会公明党)

まちの魅力度アップは市民とともに進めるべき

東部地域の課題について



等が整わず達成に至っていない。

質問 ①今年度予定されているふるさと納税返礼品の検討スケジュールは。

②観光まちづくり振興プラン等の重点施策である情報発信についての現状の評価は。

市長 ①夏頃を目途に市報等を通じて返礼品の提供事業者を募り、11月頃を目途に返礼品の拡充を図ることを目指している。

②情報発信力を強化するための8つのアクションプランのうち、7つが実施済みで一定の成果が得られている。一方で、映画撮影等の誘致については体制

更新について検討していく。

②今後、遊具の交換が見込まれる際には健康遊具の設置も含めた検討を行うっていく。



耐震化促進事業／市の火災予防対策と被災者一時生活センター
鈴木洋一議員
(政和会)

小平市の耐震化促進事業について

市の火災予防対策及び小平市被災者一時生活センターについて



質問 ①耐震化助成制度にマンシヨンの助成がない理由は。

②特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化について現状は。

市長 ①市では旧耐震基準の木造住宅と特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化の取組を重点的に進めている。また、旧耐震基準の木造住宅と比較するとマンシヨンの耐震性が高いことから、現在、助成の対象としていない。

②新耐震基準で建設されたものも含め市内に137棟あり、必要な耐震性を満たすものは134棟、耐震化率は97・8%である。

質問 ①東京都では学校給食無償化の動きが広がり、8区1市でも無償化が決定している。小平市でも実施すべきだが見解は。

市長 義務教育において学校給食は無償の対象ではないと理解している。無償化を実施するには、様々な課題がある。国のことも未来戦略会議においても課題整理を進めると示されているため、動向等を踏まえていく。

教育長 子育て世帯への経済的支援になると認識しているが、無償化には多くの人の理解が必要なことや、多額の財政負担が

必要であると認識している。

質問 東京都内の自治体で補聴器購入補助の拡充が進んでいるが、小平市でも実施すべきでは。

市長 市では現在、講座等の開催や広報誌の発行などにより、聞こえに関する啓発に努めるとともに、高齢者に対するアンケートを実施する際に、聞こえに関する質問を行っている。補聴器購入助成については、将来的な財源の確保など実施に向けて課題もあることから、引き続き、東京都や他市の動向などを注視

していく。

質問 ①避難所と福祉避難所への無料WiFi導入は。

②各市立図書館や市役所ロビー等への設置を検討できないか。



WiFi導入計画について／農ある小平の実現に向けて
岩本 誠議員
(フォーラム小平)

WiFi導入計画の確認と改良について

市民目線で農ある小平の実現に向けて



質問 ①避難所と福祉避難所への無料WiFi導入は。

②各市立図書館や市役所ロビー等への設置を検討できないか。

市長 ①災害時の情報収集など有用性は認識しているが、短期間で整備することは難しい。

②中央図書館等で整備されている。令和5年度は試行的に公民館全館、地域センター6館にモバイルWiFiルーターを配備し、図書館に5Gルーターの試行設置を予定している。図書館全館及び市庁舎等への整備は今後の課題である。



市民菜園(左)と体験農園(右)の様子



質問 ①市民菜園及び体験農園の区画数の推移は。

②市民菜園や体験農園で気軽に市民が農業に触れられる文化を小平ブランドとして進めては。

市長 ①市民菜園は3年度67区画、4年度49区画、4年12月から326区画で、体験農園は3年度390区画、4年度45区画である。

②市民菜園と体験農園は利用率が約100%であり、市民の関心も高い。しかし、維持等に大きな負担を伴うため、引き続き農家の意向を聞きながら、開設希望の農家を積極的に支援する。

質問 ①市業務等へのAI技術の利用について、現状と評価は。

②生成AI技術の文書作成業務等への活用について見解は。

市長 ①個人住民税課税事務や学童クラブの入会申請等で、紙資料の読み取りにAIOCRを利用するなどしている。業務効率化等に効果があったほか、学童クラブ入会決定書の発送時期を早めることができ、市民サービスの中でも成果があった。

②効果や課題等の情報収集をしておき、現在活用予定はない。今後も国の動向等を注視する。



AI技術の活用／個別最適な学びの実現に向けた取組の推進
深谷幸信議員
(政和会)

業務及び市民サービスへのAI技術の活用について

個別最適な学びの実現に向けた取組の推進



質問 ①開かずの踏切の定義と、小平第1号踏切が開かずの踏切に認定された経過は。

②美園町三丁目9番3号先のカーブミラー設置検討の進捗は。

市長 ①国土交通省は、ピーク時間の遮断時間が1時間当たり40分以上の踏切と定義している。平成19年に国の総点検で自動車歩行者ポトルネットワーク踏切に抽出され、平成28年の国土交通省の踏切道安全通行カルテで、開かずの踏切として抽出された。

②設置の調整に時間を要しており、引き続き調整していく。

質問 ①都営住宅の空き室を学生とマッチングする大学連携は。

②生活相談支援センターの機能を拡充し、関係団体との連携で居住支援協議会を設置しては。

市長 ①令和5年3月開催の大学連携協議会で、都の都営住宅担当課長からオンラインで事業を説明してもらった。現在、各大学から問合せ等はないが引き続き事業の周知に努める。

②住居に関する相談を受けた際の新たな取組として、近隣の居住支援法人へのつなぎを開始した。引き続き研究していく。



危険な安全安心に／住宅困窮者へ居住支援機能の構築を急ぐ
虻川 浩議員
(市議会公明党)

開かずの踏切 ほか危険が指摘される危ないを安全安心に

小平市に欠けている住宅困窮者への居住支援機能の構築を急ぐ





文化スポーツ推進計画/市民まつりから地域活性と経済再生を

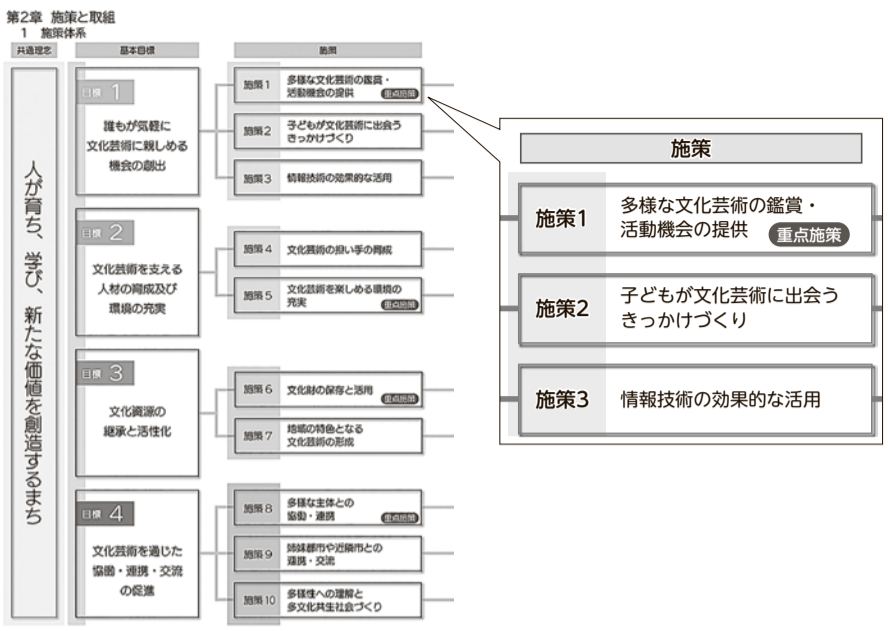


策定された文化スポーツ推進計画をより実効性のあるものに

質問 ①多様な文化芸術の鑑賞・活動機会の提供を重点施策とした背景と理由は。

市長 ①市民アンケートや検討委員会、子どもの頃から身近に文化芸術に触れる機会があることで、自然と文化芸術に親しみ豊かな生活を送れるという意見があり、重点施策とした。

②計画全体のロードマップはないが、個別施策ごとPDCAサイクルにより進捗状況を点検・評価し、より充実した事業展開が図れるよう取り組んでいく。



多様な文化芸術の鑑賞・活動機会の提供を重点施策とする小平市文化スポーツ推進計画(一部抜粋)

4年ぶりとなる小平市民まつりから地域活性化と経済再生を

質問 ①コロナ禍を経験した今、市民まつりを開催する目的は。

市長 ①市民・各種団体等がそれぞれの立場で市民まつりに参加することで、市民意識と連帯意識の向上を図り新しいふるさとづくりを促進することである。

②今後開催の市民まつり実行委員会の各分会で、これまでの振り返りや本年度のコンセプト等を話し合い、よりよい市民まつり開催に向け取り組んでいく。



マイナンバー関連トラブル/安心・安全なおいしい学校給食を



マイナンバーカードをめぐるトラブルについて市の状況を問う

質問 ①カードの申請率は。

市長 ①4月末で85%である。

②本市では第三者への誤った見込み数は。

安全・安心なおいしい学校給食を子どもたちに

質問 ①食育の観点から学校給食に期待するところは。

市長 ①日々の配膳から片づけを通して、望ましい食習慣等を身につけることなどである。

②J/A東京むさしでは把握していないと聞いている。



医療的ケア児への支援の拡充を/市は市民の声に込めているか



小平市で医療的ケア児への支援の拡充を

質問 ①医療的ケア児の人数は。

市長 ①0〜2歳児が8人、3〜5歳児が5人、小学生7人、中学生3人、高校生4人である。

②通常の調査で決定が難しい乳幼児期については、医療的ケア判定スコアの調査における医師の判断を踏まえ決定している。

続・小川駅西口地区市街地再開発事業について

質問 ①対象区域内の商店等の明渡しが進み、周辺住民等から日常生活の買い物に不便になったと聞く。移動式スーパー等の誘致を検討してはどうか。

市長 ①現在2事業者が市内4か所の都営住宅で移動スーパーの販売をしている。同事業者に情報提供を行い、地元自治会と可能な範囲で調整していく。

②この1年で、小川駅周辺の民営自転車駐車場設置に対する補助制度の問合せは1件あった。



続・小川駅西口地区市街地再開発事業/学校との関わり方



それ以降具体的な相談はなく現時点で設置の可能性は示せない。

質問 ①学校によって、朝の登校可能な時間に差がある状況を整理し必要に応じて情報を伝える必要があると考えられるが、見解は。

市長 ①給食費同様、教材費の口座振替等を検討すべきだが見解は。

②5年度からの口座振込による徴収の開始に向けて、全小学校において準備を進めている。



東部地域から中央エリアへ交通アクセスの利便性向上を



東部地域から中央エリアへの交通アクセスの利便性向上を

質問 ①東部地域から中央エリアへの公共交通でのアクセスはよいものと認識しているのか。

市長 ①鉄道や都営バスなどでアクセスでき、その鉄道駅までがコミュニティタクシーや民間の路線バスが運行しているため、一定の利便性は確保されている。

②鈴木木ルートは既に東部地域を運行しているが、延伸することで現在安定している30分間隔の運行が確保できなくなる。

空き家等対策及び低所得者や高齢者等への居住支援について

質問 ①空き家等の相談で解決に至っていない主な要因は。

市長 ①相続、所有者の意思能力の欠如及び費用の問題のほか、所有者が思いのある実家の処分に踏み切れないことなどにより解決に時間を要することが要因であると捉えている。

②現在のところ市ではそのよう



空き家等対策及び低所得者や高齢者等への居住支援について



うな仕組みはなく、今後も取り組む予定はない。なお、離職などにより住居を失った人または失うおそれのある人に対し、就職に向けた活動を行うことなどを条件に一定期間家賃相当額を支給する制度や、住宅に困っている高齢者を対象に、市が民間のアパートを借り上げて支援する制度がある。

③そのような制度はないが、生活困窮者については離職などにより住居を失った人などに、一定期間家賃相当額を支給する制度がある。また、高齢者及び障害者については賃貸借契約に係る保証料の助成などを行っている。



ユニバーサルデザインを進め、暮らしやすいまち小平に/市民参加の在り方



ユニバーサルデザインを進め、暮らしやすいまち小平に

質問 ①ユニバーサルデザインの施設を考える上で、どのような視点が大切だと考えているか。

市長 ①年齢、性別、国籍、個人の能力等にかかわらず、誰もが同じように安全、安心で快適に利用できる施設を整備することが大切であると捉えている。

②前者は、利用者の声に耳を傾け必要に応じ改善を検討する。教育長 ②後者は、利用者から

意見を聞き必要に応じ改善を検討するほか、アンケート等意見があれば対応を検討していく。

ともにもちづくりを行っていること実感できる市民参加とは

質問 ①審議会等に市民が参加する意義は。

市長 ①地域の課題解決に当たり、開かれた市政運営の観点から直接的に市民の意見を聴く仕組みの1つと認識している。

②意見は可能な限り反映に努めている。引き続き新たな手法を含め工夫し情報提供に努める。



小川駅周辺諸課題等について / 小川第十三小学校の更新等 / 細谷 正議員 (日本共産党小平市議員)

小川駅周辺諸課題等について / 小川第十三小学校の更新と複合化計画等について問う

質問 ①再開発事業の工事スケジュールと説明会の予定は。 ②都市計画道路3・4・10号

市長 ①現在、解体工事等を行っており、12月に再開発ビルの建築工事に着手し8年度の竣工に向け工事を進める予定である。

説明会は2回開催しており、今後も適切な時期に実施していく。

②令和3年8月に事業認可を取得した後、主に事業用地の取得を進めており、令和4年度末で取得面積約20平方メートル、用地取得率2・1%である。

原則継続使用は想定していない。



PFAAS汚染対策/隠れ待機児童問題 / 産後ケア事業の拡充 / 鈴木だいち議員 (日本共産党小平市議員)

PFAAS汚染から市民の命と健康を守る対策を

質問 ①市独自の血液検査などの健康調査や、浄水器の設置補助等の対策をすべきだが見解は。

②多摩地域の自治体と連携し、横田基地への立入調査等を国に対して要望すべきでは。

市長 ①市独自で血液検査や浄水器設置補助等の予定はない。

②要望は予定していないが、引き続き多摩地域各市で連携し要望の内容等を検討していく。

いわゆる隠れ待機児童問題について

質問 2023年度の保育園等の受入れ状況で、いわゆる隠れ待機児童に該当するケースはあったか。



待機児童問題/十一小等複合施設の計画を分かりやすく示せ / 川里富美議員 (フォーラム小平)

「待機児童」問題の解決を

質問 ①保育園において第2子以降の出産、育児休業に伴い、上の子の在園ができない理由は。

②指定管理の学童クラブを希望しても、直営しか空いておらず待機児童化している。希望どおり入れない新1年生の数は。

市長 ①現在、満1歳の年度末まで継続通園が可能で、要件を満たせば満2歳の月末まで可能である。待機児童数の状況を踏まえて現在の運用としてきたが、5年度の待機児童数が0人となったことなどから、6年度以降の要件は見直す方向で検討する。

世帯増加が想定される小川東町、小川駅周辺のまちづくり

質問 ①虹ヶ丘みどり公園の西側に自転車道の飛び出しに対する注意喚起表示を設置できないか。

②まちづくりとして江戸街道の小平市側歩道を整備しては。

③小川東町3丁目に建設予定の大型マンションについては、建物の高さを要望すべきでは。

④萩山公園プール跡地は市民ニーズを捉え活用すべきでは。

⑤地域全体のまちづくりにデジタルツインを活用すべきでは。

市長 ①現地を確認し、効果的な交通安全対策を検討する。

②現時点で整備計画はない。



いじめ重大事態の課題は個別事案ではない。点検評価し改善を / 安竹洋平議員 (一人会派の会)

市教育委員会事務の点検及び評価に いじめ重大事態を含めよ

質問 ①いじめ重大事態について「教育委員会事務の点検及び評価」に、その発生報告とともに管理及び執行状況の点検、評価をしなければならぬと考えるが見解は。

②いじめ防止対策推進法には、学校の評価を行う場合、いじめの実態が隠蔽されず、並びにいじめの実態の把握及びいじめに対する措置が適切に行われるよう適正に評価が行われるようにならなければならない、などとある。いじめ重大事態が起きた当該学校の当該年度の学校評価に

いじめの言及がないようだが、法に抵触していないか。

教育長 ①本制度は年度ごとに事務の管理及び執行状況を振り返るもので、個別事案の評価にはなじまないと考えている。

②学校評価報告書は、校長の学校経営方針を達成するための具体的方策が有効であったかを評価するものであり、個別案件を評価するものではない。

【掲載分以外の質問項目】 ①小平市を旧石器時代研究の拠点にしよう ②第4次小平市子ども読書活動推進計画に関するパブリックコメントの把握漏れについて



鉄道交通の安全/自助・共助・公助の連携のとれる防災体制 / 比留間洋一議員 (政和会)

鉄道交通の安全について

質問 ①西武新宿線の道路と鉄道の立体化を、いつまでに達成するという目標はあるのか。

②道路と鉄道の立体化などを含む花小金井駅周辺のまちづくりについて、令和4年度にオーブンハウスが開催されたが、市民から得られた意見は。

市長 ①田無から花小金井駅付近の区間は具体的計画が定まっておらず、目標年度は示せない。

②アンケートでは、歩道が狭いとの声や、来場者との対話では、立体化を早期に実現してほしいといった声などがあつた。

自助・共助・公助の連携のとれる防災体制を

質問 ①避難所の防災倉庫備蓄品の整備方針等について、情報発信の強化を進められないか。



用語の解説 ※1 特定緊急輸送道路沿道建築物とは 次の全ての条件を満たす建築物のこと。①敷地が特定緊急輸送道路(震災時の避難や救急活動等の大動脈となる幹線道路)に接する建築物、②昭和56年5月以前に新築された建築物、③道路幅員の約2分の1以上の高さの建築物。 ※2 5Gとは 携帯電話などの次世代通信規格の5世代目を意味する5th Generation S略称で、第5世代移動通信システムのこと。高速大容量、高信頼・低遅延通信、多数同時接続といった特徴がある。 ※3 生成AIとは あらかじめ学習したデータを基に、画像、文章、音声などを新たに作成できるAI(人工知能)のこと。 ※4 AI-OCRとは 読み込んだ紙データ等の文字をデジタル文字に変換するOCR(Optical Character Recognition)に、AIを搭載した技術のこと。前後の文字や学習データから文字を連想することで、より精度の高い文字認識が可能となる。 ※5 ボトルネック踏切とは 自動車と歩行者の交通量が多く、渋滞や歩行者の滞留が多く発生している踏切のこと。 ※6 PDCAサイクルとは Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを循環させ、継続的な改善を推進するマネジメント手法のこと。 ※7 デジタルツインとは 現実世界の情報を基に、まるで双子のようにコンピュータ上で再現する技術のこと。限りなく現実に近いシミュレーションが可能となり、製造業や都市開発等の分野で利用が広がっている。

議会図書室を一般公開しています 小平市議会では、議員だけでなく、市民の皆様にもご利用いただけるよう議会図書室を一般公開しています。 利用時間：午前8時30分から午後5時まで (土曜・日曜日、祝日及び年末年始を除く) 利用方法：市役所7階の議会事務局にお越しください。 配架図書：市議会会議録、地方自治や地方議会に関する図書など(室内でのみ閲覧できます。貸出しはできません。)

市議会を傍聴してみませんか 本会議や委員会は定員の範囲内で傍聴できます。ご希望の方

は市役所7階の議会事務局にお越しください。会議当日の午前8時30分から受付をしています。所定の手続きをしていただいた後、傍聴券をお渡しします。

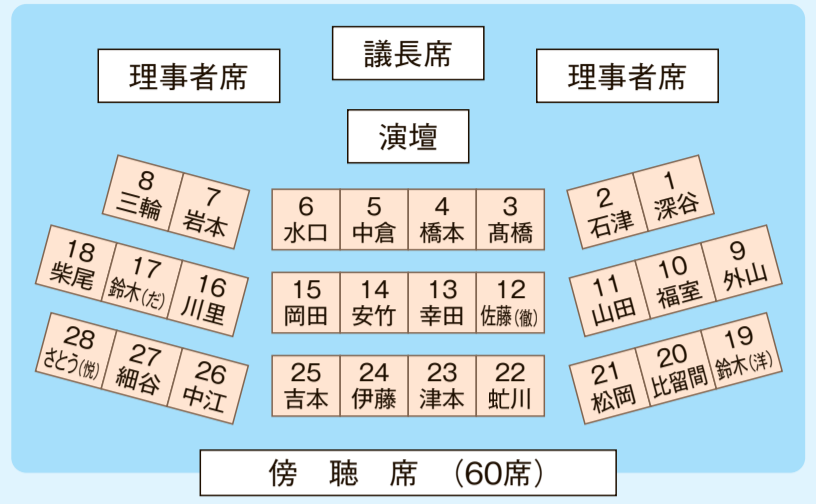
会派の構成

会派は、政策を中心とした理念を共有する議員で構成されています。小平市議会では、小平市議会基本条例第4条で議会活動を行うため、会派を結成することができますと定められています。2人以上の議員をもって会派を構成することができます。

○=幹事長

- 政和会 (8人)**
 - 比留間洋一 石津はるか 鈴木 洋一 外山まなみ 深谷 幸信 福室 英俊 松岡あつし 山田 大輔
- フォーラム小平 (5人)**
 - 吉本ゆうすけ 岩本 誠 岡田しんべい 川里 富美 中江 美和
- 生活者ネットワーク (2人)**
 - さとう悦子 柴尾ひろみ
- 《無会派》**
 - まちづくり市民こだいら (1人) 水口かずえ
- 市議会公明党 (6人)**
 - 虻川 浩 佐藤 徹 高橋 政美 津本 裕子 橋本 孝二 幸田 昌之
- 日本共産党小平市議団 (3人)**
 - 細谷 正 鈴木だいいち 三輪 博美
- 一人会派の会 (2人)**
 - 伊藤 央 安竹 洋平
- 《無会派》**
 - 市議会れいわ新選組 (1人) 中倉 茂和

議場議席図



本会議のライブ中継が始まりました

令和5年5月臨時会から、本会議のライブ中継が始まりました。
ライブ中継の閲覧方法について
 市議会ホームページの「本会議の動画配信」からライブ中継をご覧くださいませ。
 なお、会議の録画映像は、開催日の3日後(土曜・日曜日、祝日を除く)から掲載を開始し、いつでもご覧いただけます。(掲載期間は2年程度の予定です。)



※ライブ中継には字幕が表示されます。字幕はAIによる自動生成のため、正確な表記ではない場合がありますので、ご了承ください。
 ※配信されている映像及び音声は、小平市議会の公式記録ではありません。
 ※「小平市議会 議会中継」に掲載されている情報(文章、映像、音声等)に関する著作権は、小平市に帰属しています。無断転用を禁止します。

QRコードはこちら→



議会日誌

4月26日～7月18日

本会議、委員会、諸会議など

- 4月**
 - 26日 世話人会議
- 5月**
 - 8日 幹事長会議
 - 10日 初顔合わせ会
 - 12日 幹事長会議
 - 15日 新議員研修 (17日まで)
 - 18日 幹事長会議
 - 22日 5月臨時会 全員協議会
 - 29日 幹事長会議 三多摩上下水及び道路建設促進協議会 総会
 - 30日 東京都三多摩地区消防運営協議会通常総会
 - 31日 小平・村山・大和衛生組合議会臨時会
- 6月**
 - 1日 議会運営委員会
 - 6日 6月定例会初日 正副委員長協議会
 - 7日 6月定例会2日目 (一般質問)
 - 8日 6月定例会3日目 (一般質問)
 - 9日 6月定例会4日目 (一般質問)
 - 13日 総務委員会
 - 14日 生活文教委員会
 - 15日 厚生委員会
 - 16日 環境建設委員会
 - 20日 広聴広報特別委員会
 - 21日 都市基盤整備調査特別委員会
 - 22日 公共施設マネジメント調査特別委員会
 - 26日 幹事長会議
 - 27日 議会運営委員会
 - 30日 6月定例会最終日 広聴広報特別委員会
- 7月**
 - 4日 京都府宇治市議会議員視察来庁 (学校給食センターについて)
 - 6日 小平・村山・大和衛生組合議会行政視察 (埼玉県寄居町、茨城県小美玉市7日まで)
 - 12日 岡山県井原市議会議員視察来庁 (平瀬田中彫刻美術館の運営について)
 - 16日 市民と議会の意見交換会
 - 18日 広聴広報特別委員会

小平市非核都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。しかし、核軍備拡大競争及び通常兵器の軍備拡大競争は一段と激化し、世界各地で武力紛争が絶え間なく続き核戦争の脅威が迫っている。

我が国は、世界唯一の核被爆国であることにかんがみ、小平市議会は、すべての国の核兵器に反対し非核三原則を堅持し、人類永遠の平和のため努力することを決意し非核都市を宣言する。

昭和58年3月3日 小平市議会

※この宣言は、昭和58年3月定例会において議員から提案され全会一致で可決されたものです。

世界に先駆けて、本会議の録画映像をインターネットで配信しています。会議の録画映像は開催日の3日後(土曜・日曜日、祝日を除く)から掲載を開始し、いつでもご覧いただけます。(掲載期間は2年程度の予定です。)

音声市議会だより
 5月、8月、11月、2月の年4回、目の不自由な方に音声による市議会だより(カセット版またはデジ版)を発行しています。ご希望の方は、議事事務局までご連絡ください。
 ☎ 042(346)9566
 FAX 042(346)9567



市議会ホームページ
 小平市議会のページには様々な機能があります。
 ○議会中継
 本会議の様子をインターネットで動画配信しています。会議の録画映像は開催日の3日後(土曜・日曜日、祝日を除く)から掲載を開始し、いつでもご覧いただけます。(掲載期間は2年程度の予定です。)

市議会だよりデジタル版
 年4回発行している市議会だよりをデジタルブック形式で読むことができます。
 QRコードはこちら↓



閉会中継続審査の請願一覧
 生活文教委員会
 請願第1号 特別支援学級でのタクシー通学事業実施や通学バスの環境改善を求めることについて

請願・陳情
 6月定例会では、請願1件を新たに受理し、閉会中の継続審査としました。陳情は1件を受理し、全議員及び執行機関に陳情文書表を配付しました。
 閉会中の継続審査となった請願は左記のとおりです。

請願・陳情



議員の寄附行為は禁止されています
 政治家が、選挙区内の人や団体にいさつ状(答礼のための自筆によるものは除く)を出したり、お金や物を贈ることは、時期や理由を問わず法律で禁止されています。

- 5月25日 鈴木小43人
- 5月30日 六小117人
- 6月1日 花小金井小116人
- 6月13日 七小111人
- 6月15日 五小113人
- 6月16日 八小113人
- 6月20日 四小77人
- 6月19日 学園東小80人
- 6月22日 一小82人
- 6月23日 十二小127人
- 6月26日 九小70人
- 6月27日 二小90人
- 6月27日 十五小83人
- 7月14日 上宿小58人

議場見学
 《小学3年生》

あしがき

改選に伴い、本号からは新しい広聴広報特別委員会のメンバーの下、より親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。お気づきの点がございましたら議会事務局にお寄せください。
 〒187-1 8701 小平市小川町二丁目
 ☎ 042(346)1333 3番地
 FAX 042(346)9566